

伊勢崎高等学校 第1学年通信

第11号 令和4年2月2日発行
勝者になるためには

底冷えからまだまだ冬の盛りであることを実感し始めた今日この頃、早いもので二月となりました。二月といえば、一年前はみんな受験生でした。中三の時は、目の前の受験に集中していたので、気づかなかったかもしれませんが、試験は平日に行われます。当然、現役生徒が不在の中入試を行います。すなわち、生徒は、家庭にて学習しているわけです。

毎年、入試当日を前後して入試関連業務を行いますので、家庭学習となります。今年は、二月二週目がまず該当します。さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から部活動が中止となっております。前後の土日等を含めると、この期間自分自身の裁量で使える時間が、いつにも増して増えます。

ここで何をしましょうか？なるべく「ステイホーム」。家でできること、筋トレ？楽器演奏？片付け？料理？DVD鑑賞？読書？ゲーム？ずっと寝ている？普段できなかった余暇に時間を費やすのも当然良いでしょう。しかしながら、まとまった時間です、是非とも学習をしていただきたい。

冒頭の言葉は、ドラマにもなった『二月の勝者－絶対合格の教室－』から着想しました。ご存じの方も多いと思いますが、中学校入試の物語です。皆さんの入試は二年後です。ですが、今からまとまって時間がとれるときに、せっせと学習することをおすすめします。いや、国公立大学及び難関校を目指すのであればマストです。努力＝学習なくて、合格はありえません。合格には、それ相当の覚悟と学習が必要なのです。

私自身の話をします。浪人をしています、3月1日に卒業してから、予備校の始まる4月まで、丸々スケジュールが空きました。浪人してしまっ

たことを自覚し、ほかに何か余暇をする気持ちにもなれず、とりあえずひたすら勉強していました。結果、4月末に行われた模試では、偏差値が10以上上がり、超ロケットスタートを切ることができました。

さて、皆さんどうしますか？学年末考査も三週間後に迫っています。高校一年生、自分で何をすべきか判断できる年齢です。この一年間「まだ大丈夫」と呪文のように繰り返し、励ましてきました。しかし、日頃の学習習慣がない皆さんは、そろそろ大丈夫ではなくなってきました。

2月、全員の奮起を期待します。

感染症拡大防止等にかかる再度のお願い

年が明け、いわゆる第6波が猛威を振るっていることは、言うまでもありません。学校でも、感染症拡大を食い止めるべく、精一杯の指導をしております。しかしながら、学校生活以外の過ごし方に不安を覚えます。中学3年生の頃から、この方ずっと我慢を強いられており、つらいのはよくわかります。しかし、油断しての感染事例等がみられますので、再度ご家庭での過ごし方に留意ください。また、ご家族含め体調不良、PCR検査等ありましたら、学校にお知らせください。よろしくお願いいたします。

2月の予定

- 2日(水) 身だしなみチェック
- 7日(月) 入試会場準備(終日家庭学習)
- 8日(火) 前期選抜業務(終日家庭学習)
- 9日(水) 前期選抜業務(終日家庭学習)
- 10日(木) 午前3時間授業、午後家庭学習
- 16日(水) 前期選抜業務(終日家庭学習)
- 17日(木) 合格発表
- 21日(月)～25日(金)、学年末考査
- 24日(木)～25日(金) 後期願書受付
- 28日(月) 卒業式予行(午前放課)